

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」姫路校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			パーティションで児に合ったスペースの獲得をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	1		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3		
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1		全職員が PDCA に関わって業務を進めることが出来ている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			LINE@やホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4		1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			内部・外部ともに研修を受けたのち、職員全員に情報共有をして向上を目指している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		事業所内相談を通して保護者の意見を共有している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			アセスメントツールを使用して状況把握に努めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			立てたプログラを他支援員と共有し改善に努めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		複数人で支援する。 子どもの成長や不荷に応じてプログラム内容を工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		イベントや集団活動を計画する。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			個別でできることを増やしたり、集団の力で出来なかったことが出来るようになったり組み合わせながら計画を立てている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		フィードバックの職員の役割やブース配置の役割を MTG 時に決めている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		毎日、支援が終わった後その日の出来事を振り返ったり、周知しておくべきことを共有する。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			記録を 2、3 日後までには記入し、残している。利用者の今の状況などを振り返ることのできるようにしている。 朝礼で全体周知する。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			定期的モニタリングをしてその内容を皆で確認している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4	1		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	5			zoom を活用しながら支援員に参加してもらう。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	1	2	市や学校のホームページ、保護者から情報収集する。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	1	2	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4		サポートブックの活用をすすめている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	1	実例がない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2		積極的に外部との研修はないが必要なときに関係機関と連携している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2		3	イベント等で兄弟にきてもらっている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2		3	コロナの関係で参加できていない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			5～10 分ほどフィードバックをする時間をとっている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4		1	保護者の方に実際に支援に入ってもらったり、事業所内相談を実施してる。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1		保護者への書類については都度説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		事業所内相談など、時間をしっかりとっている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4		1	ママカフェを通して共通話題で話し合う機会をもつ。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			ブログや LINE@を配信している。掲示板に貼りだしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	4	1		皆で厳しく注意しあっている。今後も1人1人注意していく。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		視覚的な資料を渡すなど工夫している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	コロナの為行事は利用者のみ参加にしている。見学・体験は受け入れている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			ラミネートをし見やすい所に掲示している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			避難グッズの点検やデモンストレーションを行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			場面設定してこんな行いは虐待かと考える機会をもつ。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			説明し、署名もいただいている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	1	聴き取りは行っているが、食事の提供はしていない。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			気づいたことを紙面に残し、同じようなことが起こらないように反省している。 他の校舎とも共有する。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」姫路 校 保護者等数（児童数）： 44 回収数： 44 割合： 100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	36	8	0	・活動等の内容によります。 ・イベントの時にもう少し広がったと思う。 →活動内容に合わせてスペースを調整している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	38	6	0	・一対一での対応と思っています。専門性分からない。 ・作業療法士、言語療法士等も配置していただきたい。 →事業所紹介の更新をする。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23	19	2	・階段は少しこわい。 →施設の建物説明をする。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	43	1	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	44	0	0	工夫されている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	18	16	・コロナ禍で不可能であると思う。 →イベントで兄弟児等との交流をしている。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	44	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	42	2	0	毎回丁寧に伝えてくれ、成長や課題が分かりやすいです。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	38	6	0	・質問したら助言を教えていただいています。 ・些細な相談もしやすく助かっています。 ・面談はしてほしいです。短時間なので。 →事業所内相談等の周知を強化していく。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	23	1	・親同士の交流はほとんどありません。 →保護者会（ママカフェ）の周知を強化していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	32	12	0	→意見箱を設置した。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	43	1	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	40	4	0	LINE が使用されるようになってから活動が分かりやすくなりました。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	44	0	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	40	4	0	→開示資料の周知を徹底していく。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	30	13	1	→防災訓練を実施した際には LINE@ 等で情報を配信していく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	38	6	0	何よりも楽しみにしているのが全てです。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	42	2	0	・親が気づけないことにもよく気づいてくれており、感謝しています。 ・カリキュラムがもっとあればと思う。 →フィードバック等で保護者の反応を的確に判断し、必要であるときは管理者からも支援内容について伝えていく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。